（令和8年7月改訂版）

第2期高島市スポーツ推進計画　概要版

第１章　第２期高島市スポーツ推進計画策定にあたって　（Ｐ1~）

計画の位置づけ

スポーツ基本法第10条第1項に規定する「地方スポーツ推進計画」で、本市のスポーツ推進に関する基本的な考え方を整理し、目標や施策の方向性を示したもの。

計画期間　令和5年度（2023年度）から10年度（2028年度）までの6年間

スポーツを取り巻く社会状況の変化

- ▶ 新型コロナウイルス感染症に伴うスポーツ活動の変化
- ▶ 人口減少、少子高齢化の進行
- ▶ 健康寿命の延伸と人生100年時代の到来
- ▶ 国スポ・障スポ大会等の開催
- ▶ 休日運動部活動の地域連携や地域移行
- ▶ ライフスタイルの変化
- ▶ スポーツツーリズムによる地域活性化
- ▶ 多様性を認め合うまちの実現
- ▶ ＳＤＧｓの推進

第２章　高島市のスポーツの現状と課題　（Ｐ11~）

第１期計画における取組みと課題【平成25年度（2013年度）～令和4年度（2022年度）】

基本方針	主な取組み	主な課題
1　健康スポーツの推進	里湖で地域を結ぶウォーキング、市民体力測定会、高島版ニュースポーツ体験会の実施、びわスポキッズプログラム事業の活動支援	働く世代等の運動・スポーツ実施率の伸び悩み
2　競技スポーツの推進	市民体育大会の開催、県民体育大会への派遣、全国大会出場者等への激励金交付・市広報誌での紹介	競技人口の減少と競技力の底上げ、指導者（後継者）の確保、少子化等の影響による一部の運動部活動の維持困難
3　スポーツクラブの育成	クラブの紹介と研修会等の情報提供	身近なスポーツをする場の充実と関係機関との連携が不十分
4　スポーツボランティアの育成	スポーツイベントにおける一般ボランティア、県の登録組織での募集	スポーツボランティア数が少なく運営スタッフの確保が困難
5　スポーツイベントの振興	栗マラソン等の開催、ソフトボール大会・スペシャルスポーツの広場（障がい者スポーツ）の開催支援	スポーツを通じた本市の魅力の発信が不十分
6　スポーツ施設の整備	長寿命化の推進、国スポ・障スポ大会に向けた施設機能の拡充	スポーツ教室やスポーツ行事、設備の充実、利用手続きの簡素化

第３章　本計画の基本的な考え方　（Ｐ36~）

基本理念

「高島で、だれもが・いつでも・気軽に」スポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現をめざして

基本方針

1. 生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくり
2. 挑戦する喜びがある競技スポーツの振興
3. 資源を活かしたスポーツツーリズムの推進
4. スポーツ施設の整備・充実

※ 第２次高島市総合計画後期基本計画との整合を図る

第４章　施策の展開と取組みの方向性　（Ｐ40~）

基本方針	施策	展開方策	指標・目標値
1 生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくり	(1) スポーツによる健康づくりの推進	▶ ウォーキングからはじめる運動の習慣化 ▶ 健康管理アプリ等を活用した運動習慣の強化 ▶ グラウンドゴルフ等のニュースポーツの推進 ▶ 身近な地域での運動機会づくり ▶ 自宅や企業でのラジオ体操等の推進	▶ 成人の週１回以上の運動やスポーツ実施率 （R4）33.9% → （R10）**65.0%** ▶ 里湖で地域を結ぶウォーキングの参加者数 （R3）307人 → （R10）**500人** ▶ 子ども園、小・中学校以外で週１回以上運動やスポーツを行っている子どもの割合 （R4）37.5% → （R10）**41.5%**
	(2) スポーツを支える担い手の支援等	▶ スポーツ推進委員活動の充実 ▶ スポーツ少年団の支援　等	
	(3) ライフステージに応じたスポーツの推進	▶ 子どものスポーツ推進 ▶ 働く世代と子育て世代のスポーツの普及 ▶ シニアのスポーツの充実	
	(4) 障がい者スポーツの推進	▶ 地域における参加機会づくり ▶ 障がい者スポーツ体験会等の実施による普及啓発 ▶ 指導者・ボランティアの養成	
2 挑戦する喜びがある競技スポーツの振興	(1) 競技人口の拡大と競技力の向上	▶ 市民スポーツ（体育）大会の充実と支援 ▶ 指導者の育成・確保 ▶ トップアスリートによる指導機会の創出	▶ 市民スポーツ（体育）大会の参加者 （R3）1,438人 → （R10）**2,000人** ▶ 県民スポーツ（体育）大会の参加者 （R3）88人 → （R10）**280人**
	(2) 上位大会出場の支援	▶ 全国大会等の大会参加者に対する支援等 ▶ 大会で優秀な成績を収めた選手等の表彰等	
	(3) 全国大会等各種競技大会の受入れ推進	▶ 大会受入れに向けた機運づくり ▶ 全国大会等の観戦機会の創出 ▶ シンボルスポーツの創出・継承	
3 資源を活かしたスポーツツーリズムの推進	(1) スポーツツーリズムの推進	▶ ウィズコロナ・アフターコロナ社会における多様なスポーツイベントの機会の創出 ▶ 高島の自然を活かした合宿や大会の誘致 ▶ 大会やスポーツイベント参加者との交流促進 ▶ 大学や企業等との連携	▶ スポーツイベントの参加者数 （R4）1,793人 → （R10）**2,800人** ▶ スポーツボランティア活動の参加率 （R4）12.2% → （R10）**15.0%**
	(2) スポーツイベント等におけるボランティア活動の促進	▶ ゲームコンダクターＳＨＩＧＡとの連携 ▶ ボランティア体験機会の提供	
4 スポーツ施設の整備・充実	(1) 中核拠点となる施設の再整備と充実	▶ 施設の機能維持・長寿命化の推進 ▶ 公共施設予約システムの導入検討	▶ 社会体育施設利用者数 （R3）328,463人 → （R10）**487,000人** ▶ 公共スポーツ施設の満足度 （R4）22.6% → （R10）**25.5%**
	(2) 民間事業者との連携	▶ 指定管理者制度および企業広告収入等の導入検討 ▶ 企業スポーツとの連携	

（各基本方針共通）ニーズを捉えた情報発信

第５章　計画の推進等　（Ｐ51~）

各種計画との整合を図りながら、関係機関・団体等と協力して計画を推進します。